

<出題意図・解答例 令和8年度一般選抜入試前期日程：地域科学部小論文>

大問Ⅰ 出題意図・解答例

問1.【出題意図】

本書のキーワードの一つである「功利主義」を本文の内容に則して理解し、それが1.最大多数の利益の最大化を目指す考えであること、2.この場合、救命年数の最大化を意味すること、3.それに付随する諸問題（経済合理性への転倒、人権の軽視、高齢者の切り捨て等）があること、を的確に記述できるかを問うている。

問2.【出題意図】

本文で述べられた二つの臨床倫理的提言を比較し、両者がトリアージ自体は否定していないこと、救命年数か治療成功可能性かにその判断基準の違いがあること、を正しく読み取っているか、またその上で、選択した立場の擁護を、特定の論点に立脚した論理的な記述のもとでできるかを問うている。

大問Ⅱ 解答例・出題意図

問1.【解答例】

集積効果とは、企業同士が近接立地することで発生する利点を指す。多様な部品など原材料の安定供給や熟練労働力の確保のしやすさ、市場や技術に関する情報交流などがあげられる。こうした利点を生かすことで、市場変動への柔軟な対応を可能にする分業構造の形成やその分業構造を前提とした起業・イノベーションの促進につながる。その一方で、産業集積は、企業間の競争激化などを引き起こす。(182文字)

問2.【出題意図】

「スタートアップ・エコシステム」というアプローチにおいて、起業家の形成・出現とその活動の成否は、地域内の他のアクターとの相互作用に依存すると考える。そして、起業要因として、起業家個人の果たす役割に注目しつつも、起業家を取りまく経済的・社会的背景も強調する。起業家個人を、スタートアップを支える経済的・社会的要素から恩恵を受けるだけの一方的な存在としてだけでなく、それら諸要素へ働きかけて再構築する主体としても捉えている。このような著者の考え方を踏まえると、スタートアップ支援について、起業の仕組みを地域レベルで考えるとともに起業家が地域の仕組みづくりに果たす役割をも位置付けた政策的取り組みが求められる。これらの点を理解した上で、具体的な事例を用いて論理的な説明ができるのかどうかを問うている。典型的な事例としてはシリコンバレーのIT産業などがあげられる。